

# J Aグループ鳥取自己改革推進レポート（2月号）

## 1. J Aの自己改革に関する組合員調査の開始（J A鳥取県中央会）

組合員からJ A自己改革への評価やJ Aの事業に理解を得ることを目的とした、J Aの自己改革に関する組合員調査が1月より順次、各総合J Aにてスタートした。

各総合J Aでは12月より職員向けに研修会を実施し、対話運動等の理解促進を図る等、調査の開始に向けて準備を進めてきた。

調査期間は平成30年12月～31年12月の13カ月間で、第1次調査は平成30年12月～31年4月、第2次調査(第1次調査で未実施の組合員対象)は平成31年5月～12月。

## 2. 認定農業者アンケート実施予定（J A鳥取県中央会）

農林水産省は、総合的な監督指針に基づき、担い手等農業者がJ Aの自己改革をどのように評価しているかを把握するため、「認定農業者アンケート」を28年度から3年連続で実施している。

次回調査の実施時期は現時点では流動的であるが、農協改革集中推進期間の集大成の評価を測定する観点から、31年5月頃実施(9月結果公表)となる見込みである。

これまでの調査ではJ Aと認定農業者との評価にギャップがあることが明らかになっていることから、担い手との「訪問・対話」の取り組みを徹底する必要がある。

## 3. J A県域農業サポートセンターの取り組み（J A鳥取県中央会）

### ① 農業経営診断サポートツール実践研修会の開催

本年度に導入したサポートツール「経営診断分析システム」の実践研修会を2J Aで開催した。(2月7日J A鳥取いなば：参加者20名、2月8日J A鳥取西部：参加者17名、J A鳥取中央は30年9月に実施済)

講師に開発者であるにほんのもの株式会社代表取締役で税理士・農業経営コンサルタントである渡辺 喜代司氏と、開発元の富士通(株)能美氏を招き、システムを実際に操作しながら講義を行った。J A鳥取西部会場では、サポートセンター応援プログラムを活用して導入したタブレットPC11台を実際に操作して、サンプル診断を実践した。

参加したJ A職員からは実際に農業経営診断する際の注目点についての質問や、具体的な操作を通して「診断分析のやり方を実感できた」などの声があった。



## 4. 生産資材価格等の見直し（J A全農とっとり）

2月7日、「農家手取り最大化成果発表会」を開催。全国55モデルJ Aで83のモデル経営体を設定し2016年から3か年にわたって取り組んだ成果を発表した。単に資材費を下げるだけでなく、物財費削減、労働費低減、生産性向上といったトータルの視点で農業者の所得向上を目指し、モデルJ Aにおける取り組みとともに大規模営農経営体における経営実証に取り組んだ。

鳥取県本部では、J A鳥取いなばをモデルJ Aとし、いなば管内1法人を選定し取り組みを行った。19年度以降は県域ごとの実践を整理し、取り組み成果の水平展開とともに引き続き経営体を選び、農業経営者と経営目標を共有しながらメニューの拡充を図り、取り組みを拡大していく。

<大規模営農モデル経営体実証メニュー：鳥取県実証取り組み内容>

物財費削減	労働力削減	生産性向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地圃場に最適な除草体系の提案、確立</li> <li>・農薬大型規格の導入</li> </ul>	アグリノート活用した圃場管理・労務管理の見える化 鉄コーティング水稲直播栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圃場カルテの作成</li> <li>・農業用ベントナイト施用による圃場条件の改善</li> <li>・土壌診断に基づく施肥</li> <li>・鉄コーティング水稲直播専用肥料の使用</li> <li>・水稲多収性品種導入と買取販売</li> </ul>

5. 子育て応援定期積金受付期間・3月末まで（J A鳥取信連）

J Aバンク鳥取では、県産農産物のPR・消費拡大と、地域の子育て世帯の応援に資するため、18歳以下の子どもを扶養する世帯を対象とした、「子育て応援定期積金」の販売を平成30年4月1日から受付している。受付期間は1年間であり、来る3月31日に受付を終了する。

特 典	1,000円相当の新鮮な県産農産物を3年間（毎年1回）プレゼント
契約対象者	契約時にJ A住宅ローンを利用し、かつ18歳以下の子どもを扶養している方
取扱期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
積立期間	3年
契約金額	10万円以上
払込方法	契約期間内で掛金を分割払込み
払込周期	1か月
払込金額	1回あたり3,000円以上

## 6. 3Q訪問活動について（JA共済連鳥取）

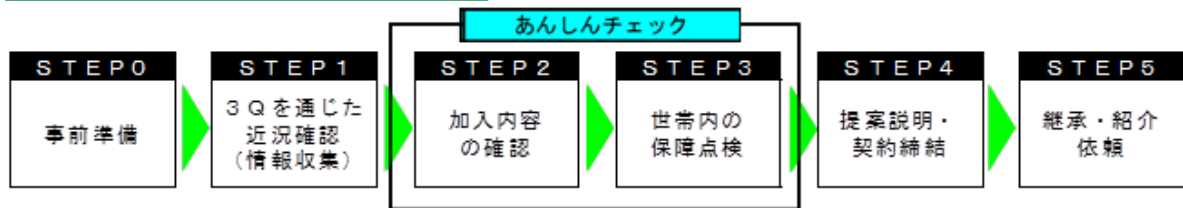
### ① 3Q訪問活動とは

3Q訪問活動とは、「安心は会うことから始まります」を合言葉に、JA全職員の力を結集して取り組んでいる「契約者フォロー（日常のフォロー活動）」である。

3Q訪問活動では、JAそしてJA共済をご利用いただいていることへの日頃の感謝「ありがとう」（サンキュー）を伝えるとともに、契約者の近況確認（共済金の請求忘れなどがないかどうか）を行うことで、コミュニケーションや信頼関係の強化を図っていく活動。

また、LAが活動主体となった「あんしんチェック」（加入内容の確認および保障内容の点検）を行うことで、「必要なとき」に「必要な保障」を提案することを可能とし、組合員・利用者皆さまへこれまで以上に安心と満足を提供できる取り組みとなっている。

#### 3Q訪問活動で実践するステップ



### ② 平成30年度 3Q訪問活動の取組実績 （平成30年4月～平成31年1月）

3Q訪問活動の加入世帯に対する実施率は53.4%、あんしんチェックは51.3%となっている。31年度は加入世帯の60%以上に対して3Q訪問活動を実施するよう取組強化を図り、多くの組合員・利用者皆さまに安心と満足を提供していく。

（単位：世帯、％）

JA名	加入世帯数 (年度始)	3Q訪問活動		あんしんチェック	
		実施世帯数	実施率	実施世帯数	実施率
県合計	73,648	39,397	53.4	37,851	51.3